

調布駅前広場整備計画図 補足資料

- 1 調布駅前広場における検討の経緯
- 2 平成25年7月作成の調布駅前広場検討図の考え方
- 3 交通結節機能について
- 4 環境空間としての広場機能について
- 5 調布駅前広場整備計画図

1 調布駅前広場における検討の経緯

調布駅前広場におけるこれまでの主な検討の経緯

- 平成9年度～平成11年度
基本的な考え方『中心市街地街づくり総合計画』検討
- 平成10年度 「調布市都市計画マスタープラン」策定
- 平成12年 3月 「中心市街地街づくり総合計画」策定
- 平成14年 2月 調布駅前広場(調布3・4・29,調布3・4・30)
都市計画変更
- 平成14～15年度 駅前広場研究会
- 平成16年 5月 「調布駅前広場整備構想案(一次)」公表
- 平成17年 7月 「調布駅前広場整備構想案(二次)」公表
- 平成21年 7月 「中心市街地デザイン・コンセプト」策定
(策定までに説明会4回, ほかアンケート調査・パブコメ実施)
- 平成22年 3月 調布駅前広場検討報告会
- 平成23年 6月 調布・布田・国領駅前広場等 検討報告会
- 平成25年 7月 「調布駅前広場検討図」公表
10月 中心市街地街づくり市民説明会
- 平成26年10月 調布駅前広場(調布3・4・29, 調布3・4・30)
事業認可取得
11月 調布駅前広場事業説明会
- 平成28年 6月 調布駅前広場の事業進捗に関する説明会
11月 調布駅前広場整備工事着手
(北側ロータリー街築工着手)
- 平成30年 9月 調布駅前広場の道路区域編入
- 平成31年 1月 調布駅前広場の整備に関する説明会

- 令和元年度 オープンハウス, 市民アンケート調査, 調布駅前ひろば
検討会等を実施
南側ロータリーの一部修正を決定
- 令和2年 11月 一部修正に伴う交通管理者(警視庁)との再協議完了
ロータリー計画図決定
- 令和2年12月 調布駅前広場整備計画図素案及び素案(修正案)
～令和3年2月 に関する市民参加の実施
- 令和3年 3月 調布駅前広場整備計画図案に関する市民説明会
「調布駅前広場整備計画図」決定・公表



調布駅前広場における令和2年度の環境空間についての検討の経緯

市議会	市民参加	関係団体との意見交換
9/1 中心市街地基盤整備等特別委員会 (ロータリーの検討状況について)		10月 視覚障害者団体との意見交換会 自立支援協議会との意見交換
11/17 中心市街地基盤整備等特別委員会 (ロータリー計画図決定、整備計画図素案について)		11月 視覚障害者サロン訪問
「市報ちょうふ」11/20号にてロータリー計画図公表		
『調布駅前広場整備計画図素案』とりまとめ		
	12/4, 5 第1回オープンハウス 12/8~11 第1回ギャラリー展示 12/8~1/11 WEBアンケート 12/18~1/11 市民アンケート 12/22~25 第2回ギャラリー展示	12月 商店会との意見交換 植木組合との意見交換
↑令和2年 ↓令和3年		1月 バリアフリー専門家との意見交換 街路樹管理者との意見交換 障害者団体との意見交換
『調布駅前広場整備計画図素案の修正案』とりまとめ		
	2/7, 10 第2回オープンハウス 2/11~26 WEBアンケート(記述式)	2月 商店会との意見交換
『調布駅前広場整備計画図案(案)』とりまとめ		
2/22 中心市街地基盤整備等特別委員会 (整備計画図案(案)について)		
『調布駅前広場整備計画図案』とりまとめ		
3/29 中心市街地基盤整備等特別委員会 (整備計画図案について)	3/24 調布駅前広場整備計画図案に関する 市民説明会	
『調布駅前広場整備計画図』決定・公表		



2 平成25年7月作成の調布駅前広場検討図の考え方

平成25年7月作成の調布駅前広場検討図の考え方

- 『交通結節機能』のみを重視するのではなく、『環境空間としての広場機能』を併せもつ駅前広場とする。
- 『環境空間としての広場機能』には、4つの機能をもたせて各施設等を配置する。

調布駅前広場 機能

道路としての交通結節機能

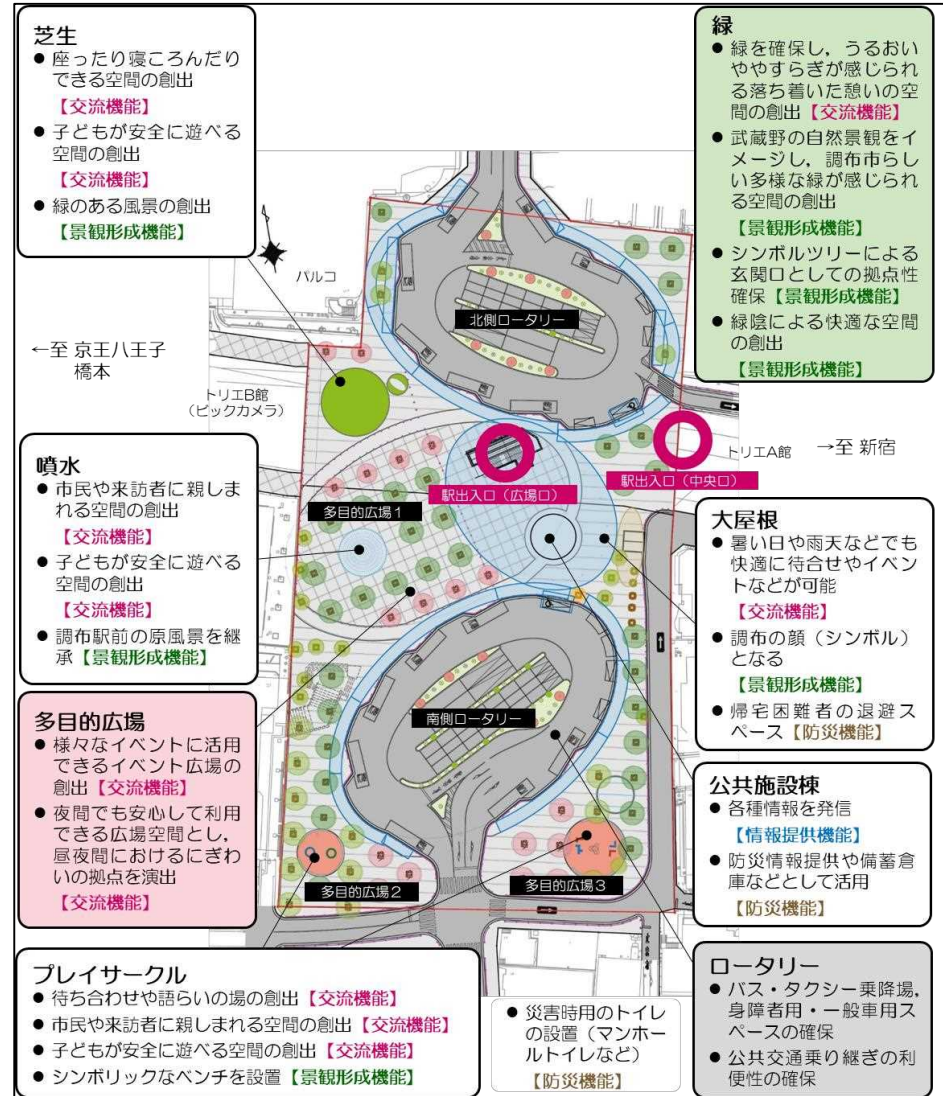
環境空間としての広場機能

① 交流機能

② 景観形成機能

③ 情報提供機能

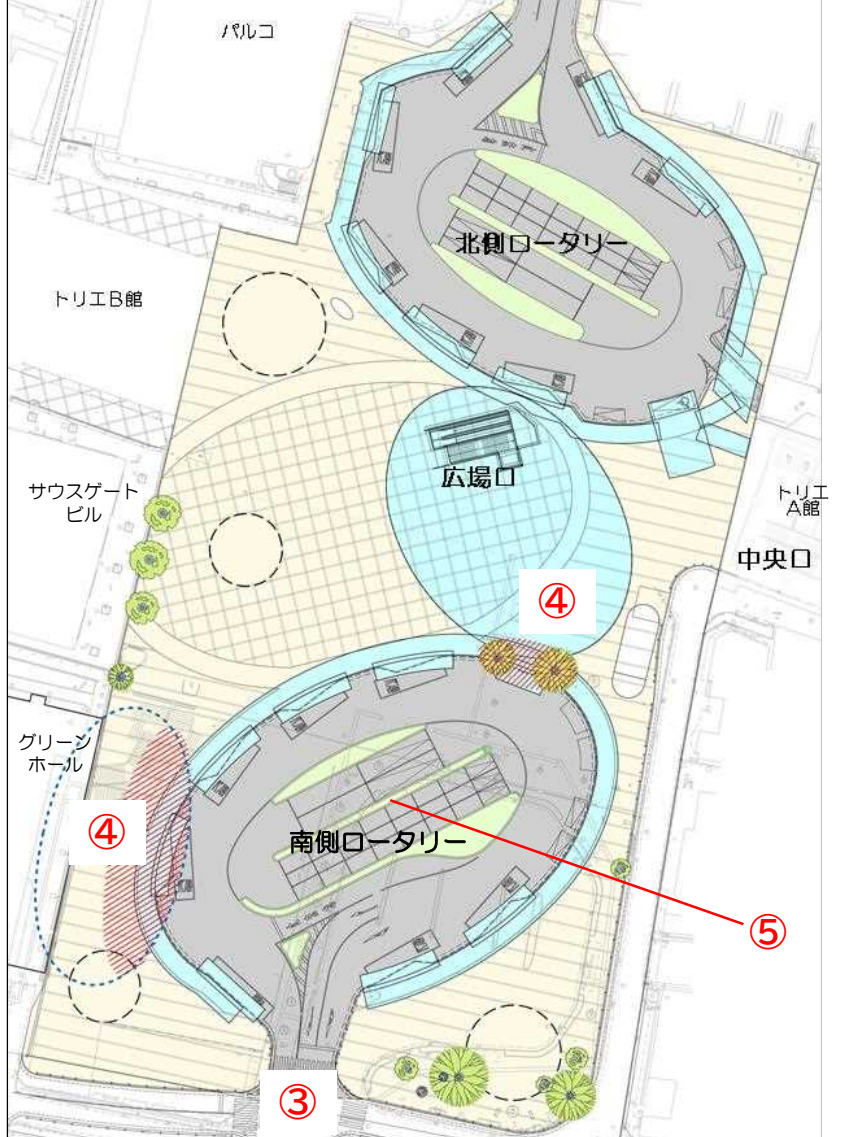
④ 防災機能



3 交通結節機能について

令和元年度における南側ロータリーの再検討(市報令和2年3月20日号でお知らせ)

令和元年度の南側ロータリーの検討内容



平成25年度検討図からの再検討の経緯

- 中心市街地街づくり総合計画策定段階から多様な市民参加を
実践しながら、検討を実施
- 交通管理者(警視庁)や交通事業者(バス・タクシー)との協議は、
複数年の調整を経て完了済
- すでに京王線地下化後8年余経過し、連立事業の事業効果発揮
のためにも、早期の完成が不可欠
- 社会情勢の変化
- 市民ニーズの変化・行政課題への対応
- 広範な市民の声を伺うなかで、環境空間(ひろば機能)の確保や、
南側ロータリーの西側歩行者動線改善などの意見を再確認



**社会情勢の変化や広範な市民の声
(ひろば検討会、アンケート調査ほか)を踏まえ、
『令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部の
修正を総合調整』**

一部の修正の検討前提

- ①連立事業後の駅前広場の早期完成(令和7年度)
- ②交通管理者協議を終了している中での総合調整
- ③上記理由で、南端の交差点形状は変更しない
- ④南側ロータリー形状の再確認・総合調整
 - *南側ロータリー北端のイチョウとユリノキの現位置保全
 - *南側ロータリー西側の歩行動線の改善と環境空間(ひろば機能)
確保
- ⑤現状のバス、タクシー乗降場等の確保
(乗降場⇒バス:6, タクシー:2/待機場⇒バス:3, タクシー:14)
- ⑥南側ロータリーの一部の修正に向けた総合調整を、交通管理者等
の関係機関との限られた条件・期間での協議を市の責任で実施

令和2年度決定したロータリー計画図(市報令和2年11月20日号でお知らせ)

ロータリー計画図



▶▶▶ 平成25年警視庁協議からの変更内容(南側ロータリー)

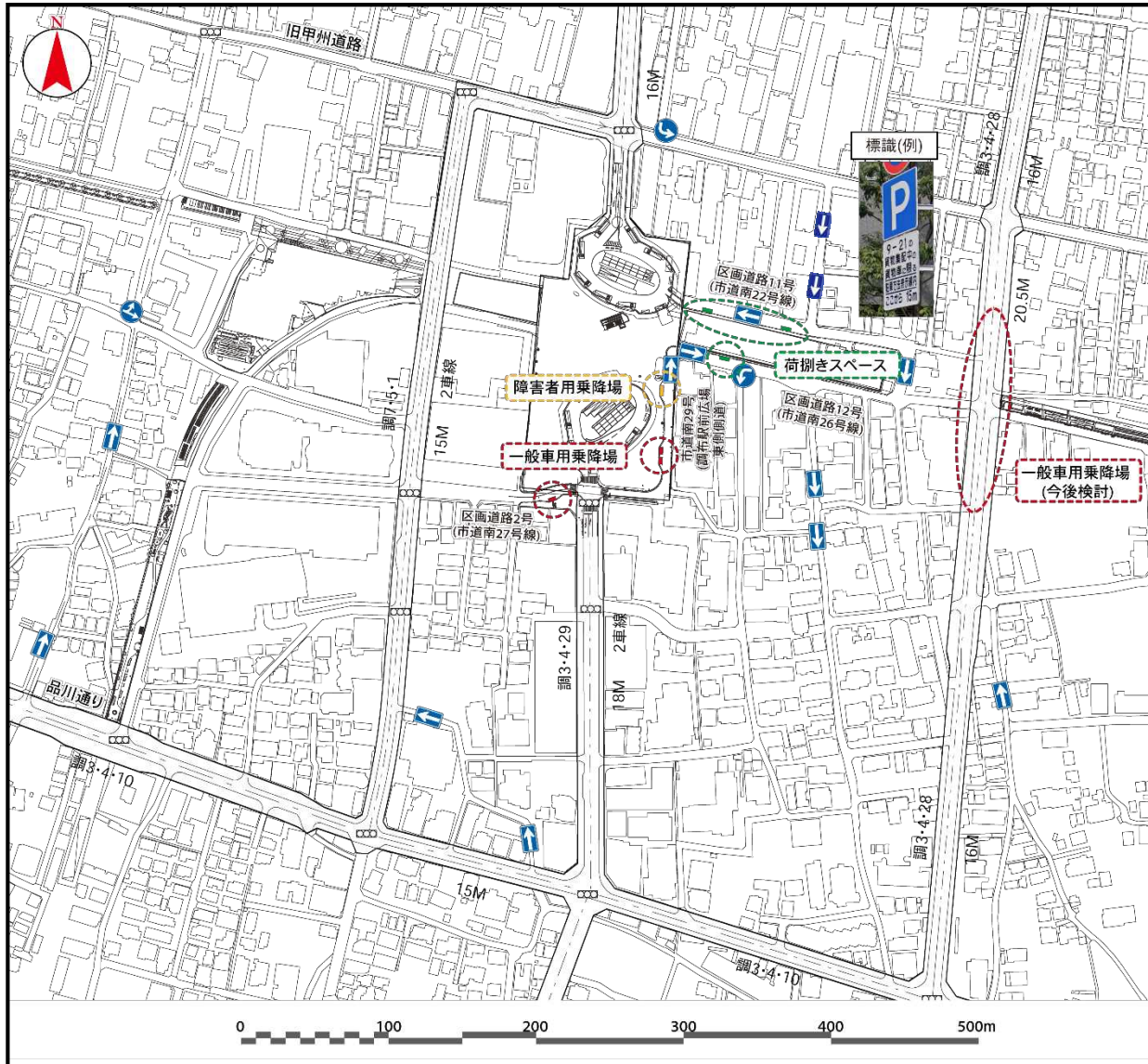
- ①バス乗車場を1台減とした(5台→4台)
- ②バス待機場を1台減とした(4台→3台)
- ③タクシー待機場を6台減とした(24台→18台)
- ④ロータリー出口の右折帯を無しとした
- ⑤交差点西側道路の交差点への取付角度を対面道路とあわせた
- ⑥一般車及び障害者用の乗降場をロータリー外側に配置した

▶▶▶ 南側ロータリーの施設規模や計画諸元の整理

		(1)現況	(2)H25警視庁協議	(3)R2警視庁再協議
バス	降車場	2	2	2
	乗車場	4	5	4
	待機場	3	4	3
タクシー	乗降場	2	2	2
	待機場	14	24	18
一般車用乗降場		0	2	(3)
障害者用乗降場		0	1	(1)
ロータリー西側の縮小幅員(2)と比較)		—	—	約14m
ロータリー面積(2)に対する面積比)		約1,900㎡ (—)	約3,250㎡ (100%)	約2,700㎡ (約85%)
交差点から広場口までの歩行距離		120m	135m	125m

調布駅周辺における一方通行規制及び車両の駐停車について

○調布駅の周辺における一方通行の規制や一般車・障害者用乗降場、周辺の商業店舗の荷捌きスペースについて、一部見直しを図った。



1 一方通行規制について

- (1) 区画道路2号の一方通行解除 (相互通行化)
- (2) 市道南29号線(調布駅前広場東側側道)の一方通行現状維持
- (3) 区画道路11号の一方通行現状維持
- (4) 調布3・4・28号線の一方通行解除 (相互通行化)

2 一般車・障害者用乗降場について

- (1) 一般車用乗降場
 - ・市道南29号線(調布駅前広場東側側道)に2箇所整備
 - ・区画道路2号に1箇所整備
 - ・調布3・4・28号線に整備を検討
⇒乗降場の数を増やし、分散配置することで利便性向上
- (2) 障害者用乗降場
 - ・市道南29号線(調布駅前広場東側側道)に整備
⇒駅出入口付近での設置による乗降の利便性向上

3 荷捌きスペースについて(整備済)

- ・区画道路11号・12号に、周辺商業店舗の搬入車の荷捌きスペースを確保することで、一般車の交通の円滑化を図る

4 環境空間としての広場機能について

環境空間としての広場機能の考え方の更新

○市民意識の変化や環境の変化を踏まえ、広場機能の必要性・費用等の視点から再検討を行った。

調布駅前広場 機能

道路としての交通結節機能

環境空間としての広場機能

① 交流機能

② 景観形成機能

③ 情報提供機能

④ 防災機能

平成25年度検討図からの更新の経緯

- 平成24年の鉄道の地下化, その後の線路撤去により, 調布駅周辺の南北の市街地一体化が目に見えるようになった
- 平成29年のトリエ調布の開業などにより, 駅周辺の賑わいが高まり, 歩行者動線等が大幅に変化した



地下化(平成24年8月)・計画作成(平成25年7月)から
長い年月が経過し, 市民意識に変化

新たな視点を加えた機能の更新

歩行者動線等の考慮

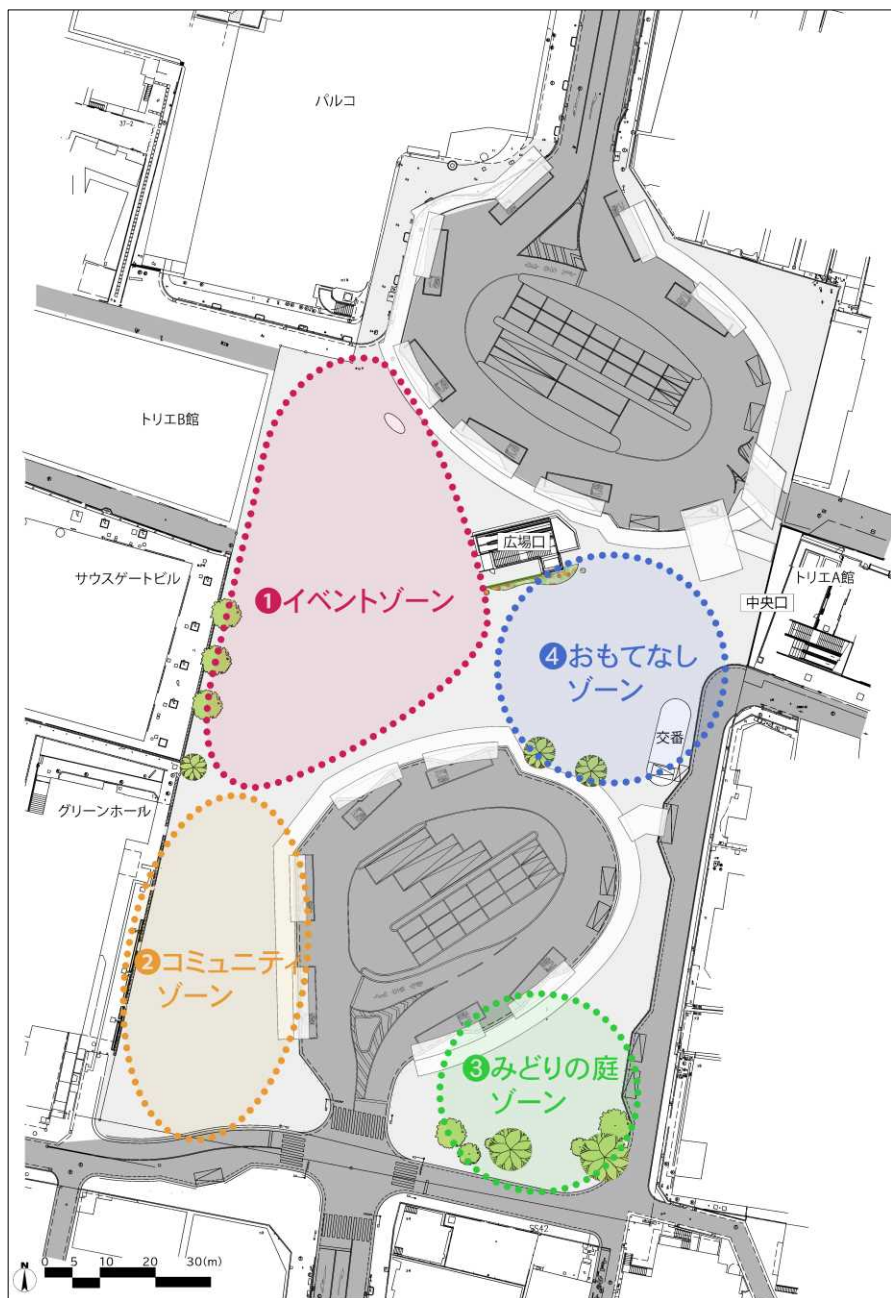
暑さ対策等環境への配慮

情報技術の高度化への対応

イニシャルコスト・メンテナンスコストの縮減

新型コロナウイルスによる
新しい生活様式への対応

ゾーニングについて



① イベントゾーン

- ハレの場として賑わいや交流を創出する空間
- 日常の憩いや交流を創出する空間

② コミュニティゾーン

- 品のある落ち着いた空間
- 子どもからお年寄りまで誰もが憩い・くつろぐ空間

③ みどりの庭ゾーン

- テナントビル等と緩やかに分節する空間

④ おもてなしゾーン

- 市の新たな顔・玄関口としての雰囲気演出する空間

各ゾーニングの整備イメージ

① イベントゾーン

空間特性

- 大型の商業・業務機能(パルコ・トリエ・サウスゲート)に囲まれている
- まとまった大規模な広場空間がある
- 調布駅広場口, 南北ロータリーへの主要動線が位置する

しつらえの考え方

- 周辺の商業・業務と連携したハレの場(非日常)としての賑わいや交流を創出する空間づくり
- 日常の憩いや交流を創出する空間づくり

空間の使われ方のイメージ

- ハレ(非日常)の場
 - ▶ スポーツ観戦等のパブリックビューイング(例:ラグビーW杯2019)
- 日常の利用
 - ▶ キッチンカーやマルシェ, オープンカフェ等の実施



③ みどりの庭ゾーン

空間特性

- 南側にマンションが立地する
- 東側に遊技場, テナントビル(飲食等)が立地する
- 3方向を車道に囲まれている

しつらえの考え方

- 東側のテナントビル等と緩やかに分節する空間づくり
- 歩行者の通行空間として確保する

空間の使われ方のイメージ

- 歩行者動線
- 一般車の乗降場
- 木陰で休憩・くつろぐ



② コミュニティゾーン

空間特性

- 西側に文化・芸術機能の立地がある
- 一定の中規模な広場空間がある

しつらえの考え方

- 文化芸術の雰囲気につながる、品のある落ち着いた空間づくり
- 子どもからお年寄りまで誰もが憩い・くつろぐ空間づくり

空間の使われ方のイメージ

- 調布市役所やグリーンホールに用事のある親子が木陰でひと休み
- 駅前での待ち合わせや語らいの場



④ おもてなしゾーン

空間特性

- 調布駅中央口前面のまとまった広場空間がある
- 南北ロータリーへの主要動線が位置する

しつらえの考え方

- 市の新たな顔・玄関口としての雰囲気演出する空間づくり
- 調布市ゆかりの樹木や四季の移ろいを感じることのできる樹木を配置する

空間の使われ方のイメージ

- 市内外の多様な人々が行き交い, 調布市の自然や文化などの趣きを感じる

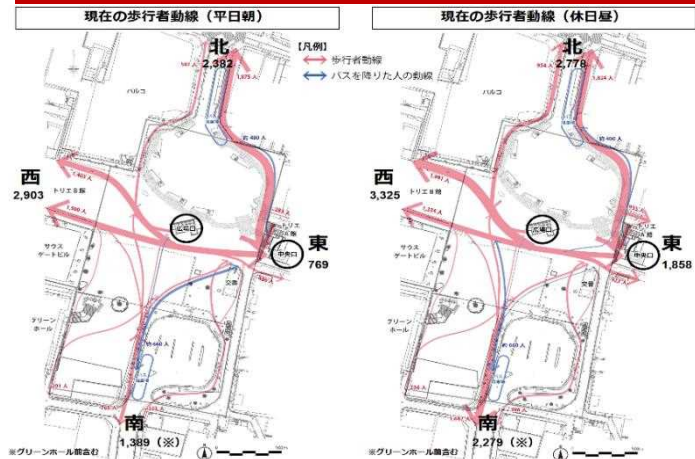


歩行者動線について

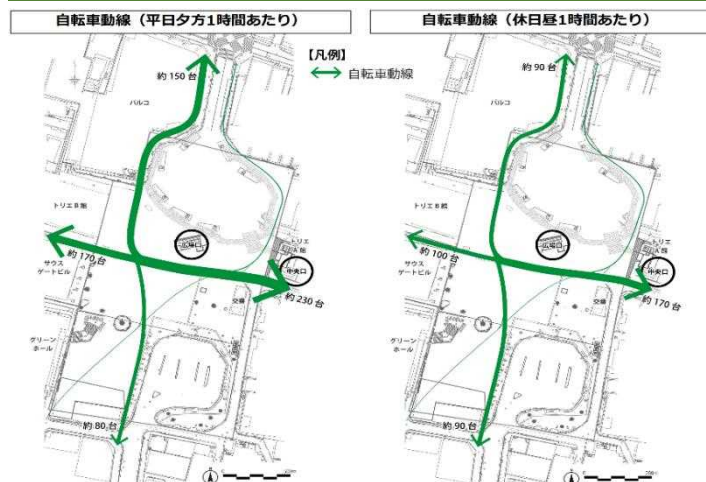
○調布駅前広場行動調査の結果を踏まえ、調布駅から南北バスロータリーや商業施設(パルコ, トリエ), 駅周辺の公共施設(市役所, グリーンホール)をつなぐ経路を歩行者動線に設定する。

令和元年度実施の調布駅前広場行動調査の結果

歩行者動線



自転車動線



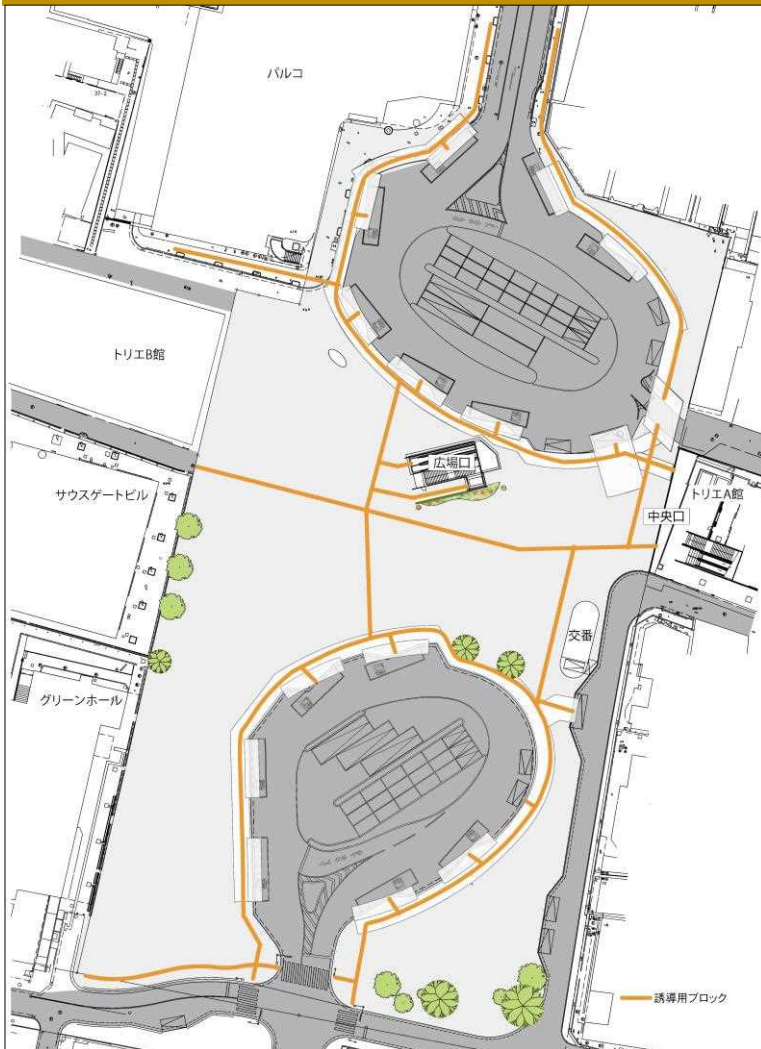
歩行者動線



誘導用ブロックの配置について

- 歩行者動線の上に誘導用ブロックを配置する。
- 敷設する誘導用ブロックの具体的な配置などの詳細については、今後も継続的に関係団体と協議のうえ決定していく。

誘導用ブロックの配置



◎障害者団体・バリアフリー専門家との意見交換の経緯

(検討の経緯)

令和2年10月 視覚障害者団体との意見交換会
自立支援協議会との意見交換

11月 視覚障害者サロン訪問

令和3年 1月 視覚障害者団体との意見交換会・まちあるき
バリアフリー専門家との意見交換



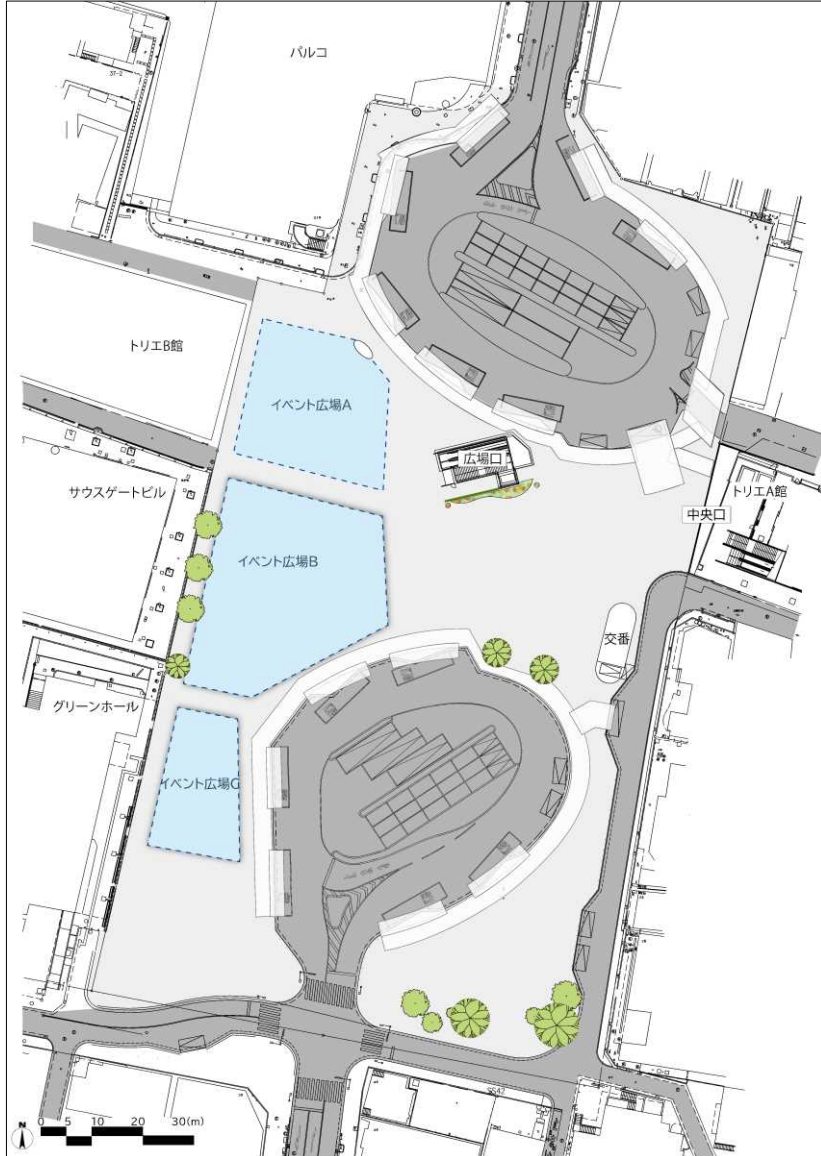
▲実際に検討で使用した触知図

詳細(具体的な枚数, 敷設の位置等)については、
今後も継続的に関係団体との意見交換やまちあるき等を重ね
決定していく

イベント空間について

○歩行者動線や調布駅前広場周辺の空間特性をふまえ、イベント空間を設定する。

調布駅前広場 イベント空間



広場総面積: **約2,000㎡**

⇒現在開放しているイベント広場の総面積と同程度を想定

利用のイメージ

「ハレ(非日常)」の場 例: ファンゾーン, 商工まつり



日常の利用 例: マルシェ



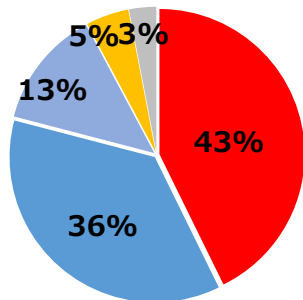
自転車の通行について

○調布駅前広場の自転車通行については、今後も関係機関等と協議を行い、具体策を検討していく。
 ○現在の課題を明らかにし、ルールづくりの参考にするため、今後社会実験を実施し効果を確認していく。

市民参加の結果

調布駅前広場の自転車の通行について

- 自転車の通行を禁止
- 自転車通行空間(24時間)の設置
- 自転車通行空間(時間帯制限)の設置
- その他
- 未回答



今後の社会実験のイメージ

歩行者の安全性 と **自転車の利便性** を両立させるルール作りが必要



○利用実態調査等を通じて通行している市民の目的等を調査する
 ○社会実験の実施により効果を確認していく

調布駅前広場の自転車通行の実態及び課題

実態及び課題	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り入れを禁止すべきとのご意見が一定数ある ・一方、子どもを乗せての押歩きは大変なので通行を認めてほしいといったニーズもある
東西方向	<ul style="list-style-type: none"> ・京王線地下化前は東西方向の通行が可能だったため、現在も往来が多く見られる ・駅出入口から南方向に向かう歩行者との交錯が起きる
南北方向	<ul style="list-style-type: none"> ・南北の動線は、京王線地下化後に生まれた動線である ・東西方向の歩行者との交錯が起きる。また、北側の商業ビル前の空間では歩行者と自転車が錯綜する

社会実験の検討例

・リーフレット配布

《配布先イメージ》

- ①調布駅周辺の駐輪場
- ②近隣の保育園等
- ③近隣店舗

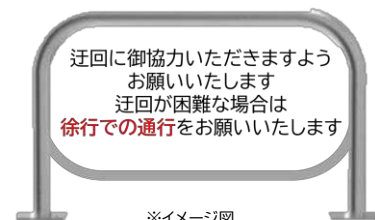


▲配布物イメージ 出典:東京都都民安全推進本部

・車止めや注意喚起の看板の設置



現在の車止めの設置場所(交番前)



※イメージ図

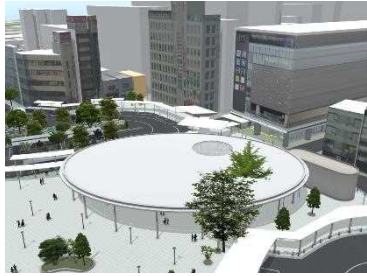
上屋の設置について

○南側の障害者用乗降場に雨天でも安全に乗り降りできるための上屋を設置する。

上屋検討の経緯

平成25年度の計画図

大屋根を検討



○災害時の滞留スペース
○雨天時の移動の利便性向上が目的



想定されるコストが高い
設置:5億円 + 毎年の維持費
整備計画図素案で設置を見直し

整備計画図素案

上屋を検討



○バリアフリーの観点から、
駅出入口⇄南北ロータリーを
つなぐ上屋の設置を検討



上屋の柱が歩行者動線と干渉
することが懸念される
広場の空間の広がりを損ねる

令和7年度の駅前広場完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持していく

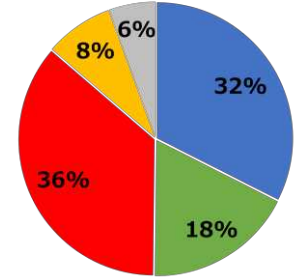


バリアフリーの観点から、
南側の障害者用乗降場
に雨天でも安全に乗り降りできるための上屋を設置する

市民参加の結果

上屋の配置について

- 広場口⇄南北ロータリー
- 中央口⇄南ロータリー
- 上屋は必要ない
- その他 ■ 未回答



上屋設置箇所



◎上屋の柱と歩行者動線等の干渉が懸念される
◎空間の広がりが損なわれる

上記を踏まえ、令和7年度の完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持していく

コミュニティゾーンの整備について①

○「子どもから高齢者まで憩える空間」のご意見が多いことから、どの世代もうるおい・憩える空間として整備をしていく。

「噴水」について

年々進む酷暑

年度	H12	H17	H22	H27	H30
死亡者数	207	328	1,731	970	1,581

平成22年を境に、近年に向けて熱中症による死亡者数が増加

自治体による熱中症対策の必要性

噴水に求められた機能

昨年度の市民参加での主な意見

- 暑さ対策, 子どもの水遊び
- しっかりとした水質管理

噴水の稼働停止

以下の理由で、噴水を稼働停止もしくは撤去している自治体が増えている

- ・節電対策
- ・高額な修繕費
- ・水質維持及び衛生管理が難しい
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止

⇒ミスト等による暑さ対策と子どものうるおい空間を検討

「子どもの設え」について

子どもの設えに求められる機能

ベンチ等を設置した待ち合わせや語らいの空間

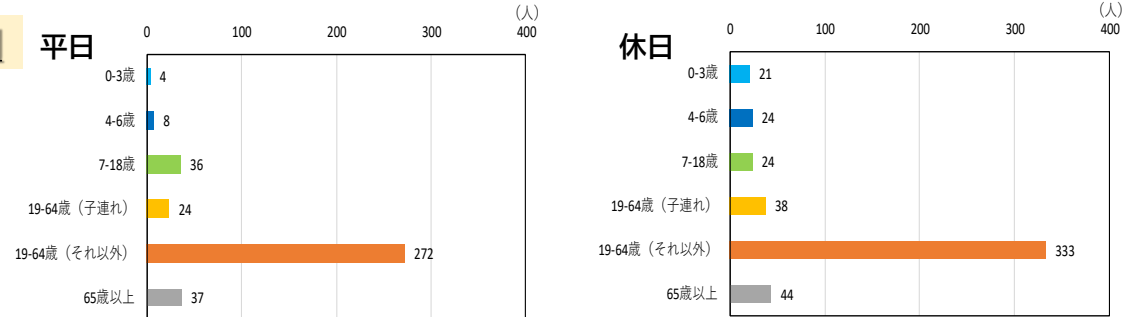
昨年度のオープンハウス等での主な意見

- ・歩行者との接触が心配
- ・車通りがそれなりにあるので子どもが走り回るような場所ではないと思う
- ・子どもが遊べる空間が欲しい
- ・タコ公園のような場所が欲しい



タコ公園の代替について
⇒市役所裏の鉄道敷地に
タコのすべり台を置いた公園を開園

令和2年度調布駅前広場利用実態調査でみる年齢別利用者



○平日に比べ、休日は0～6歳の子どもや19歳以上の子連れの利用者が増加
○しかし平日休日問わず子どもの利用者よりも19歳以上の利用者が大幅に多い

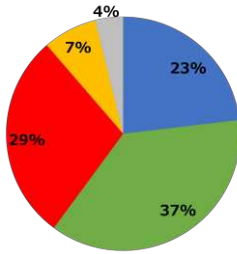
⇒子どもから大人まで一緒に憩えるような設えを検討

コミュニティゾーンの整備について②

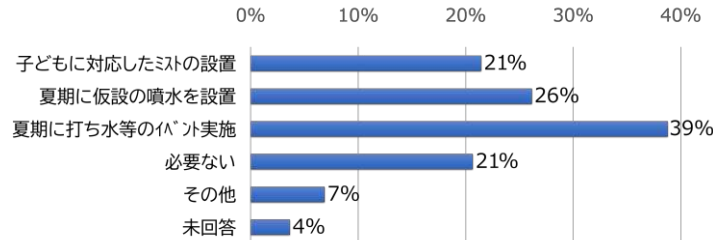
市民参加の結果

うるおい空間について

- ベンチの近くにミストの設置
- 歩行者動線上にミスト
- ミストは必要ない
- その他 ■未回答

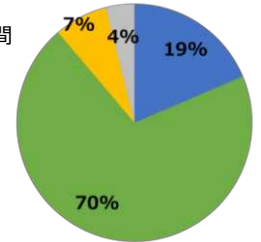


子どものうるおい空間について



子どもの設えについて

- 主に子どもが利用する憩い空間
- 子どもから高齢者まで憩える空間
- その他 ■未回答



コミュニティゾーンの整備の方針

〇うるおい空間

令和2年度社会実験として、

- ・パーゴラとミストの設置
- ・可搬式緑化ベンチにミストを設置

ミストの活用を前提に、うるおい空間の創出と効果的な暑さ対策を講じられるよう、今後も様々な形で社会実験等を実践し、決定していく



動線上に設置
出典:株式会社Do SCIENCE



足元からミストが出る事例



子どもの打ち水イベント
出典:中野区HP

〇憩い空間

どの世代でも憩いやすらげる空間を創出する中で、下図のエリアに、飛行機ベンチや汽車ベンチのような、子ども向けのベンチを設置していく



情報発信機能の確保について

- 公共施設棟の設置は行わない中で、デジタルサイネージ等を用いた情報発信機能を確保していく。
- 特に市民ニーズの高い情報の提供を目指し、**公民連携も視野に入れた社会実験**を実施することで、具体的な設えや内容を決定していく。
- 駅前広場内(地上)に単独での建築物の設置は行わない中で、**観光案内機能を確保**することを検討する。

公共施設棟の再検討の経緯

公共施設棟に求められた機能

求められた機能	現時点での取り扱い
交番	調布駅中央口付近に既設
トイレ	原位置付近での新設を予定 《理由》 ①複合施設でなくトイレ単独の設置となる場合、イベント空間とのバランスを考慮する必要があること ②周辺土地利用への配慮が必要であること
防災倉庫	鉄道敷地に既設
観光案内所	広場内にぬくもりステーションを設置

上記を踏まえると、公共施設棟に入る機能は観光案内所のみ

⇒公共施設棟の設置自体を見直し

観光案内所の取り扱いについて

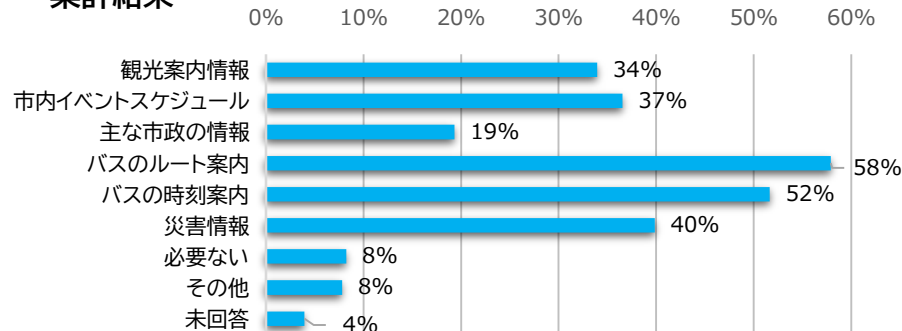
- ①当面は、現在の観光案内所(ぬくもりステーション)を活用
- ②駅前広場内(地上)に単独での建築物の設置は行わない中で、観光案内機能を確保することを検討

市民参加の結果

提供してほしい情報…

1位 バスのルート案内 2位 バスの時刻案内 3位 災害情報

集計結果



社会実験のイメージ

バスの案内版



出典：神奈川中央交通公式Facebook

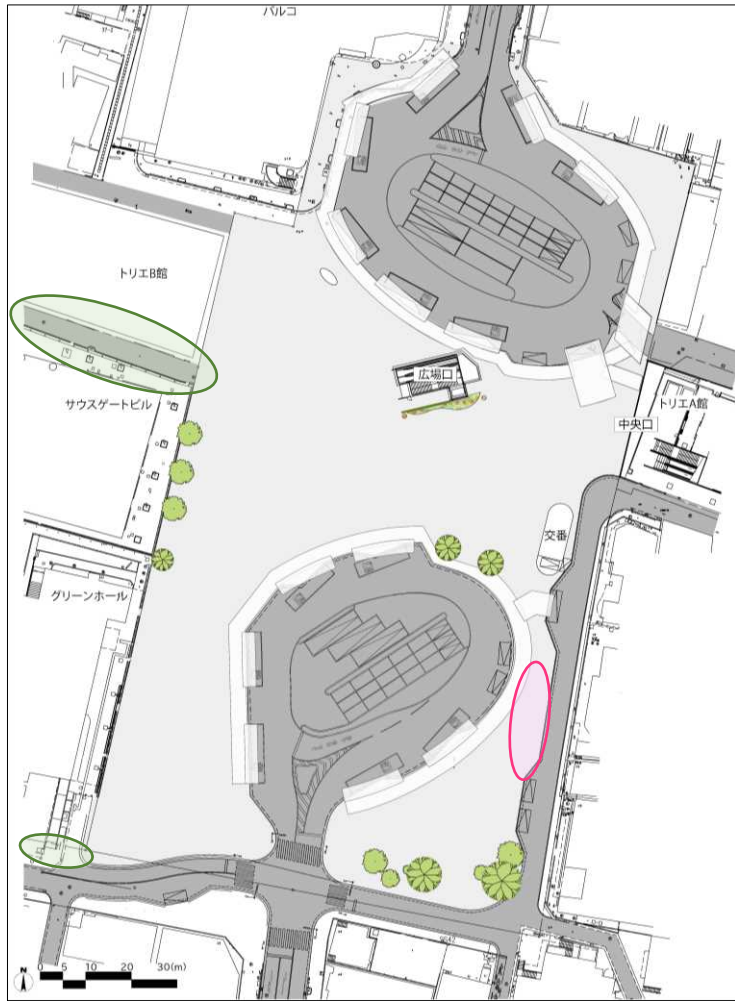
観光案内機能を持ったもの



出典：公益財団法人東京観光財団

トイレ・マンホールトイレの設置について

- トイレについて、現在の暫定トイレの付近に設置する。仕様等の詳細については関係部署等と協議のうえ決定していく。
- マンホールトイレについては、調布駅前広場付近の設置を前提に、管理者等と協議し設置基数等を決定していく。



トイレ・マンホールトイレの設置方針

○トイレ… (設置予定箇所)

- ・トイレは現在の暫定トイレ付近に設置する
- ・施設のグレードや仕様、管理方法については、今後関係部署と協議のうえ決定していく

○マンホールトイレ… (設置検討箇所)

- ・マンホールトイレと貯水槽は、調布駅前広場付近に設置する
- ・マンホールトイレの基数は、周辺の一時的収容可能施設等のトイレ不足を解消できる程度とする
- ・今後管理者等と協議し、設置基数等を決定していく

マンホールトイレの整備イメージ



出典:北九州市



出典:「熊本地震におけるマンホールトイレの活用 ～避難所の生活環境向上に向けた取組～」
熊本市上下水道局
「熊本地震でのマンホールトイレの活用状況 について」NPO法人日本トイレ研究所

樹木配置について①

- 各ゾーニングの特性と植栽コンセプトの観点から、樹木を配置する。
- グリーンホール前の配置については、関係部署等と協議のうえ決定していく。

樹木配置の考え方

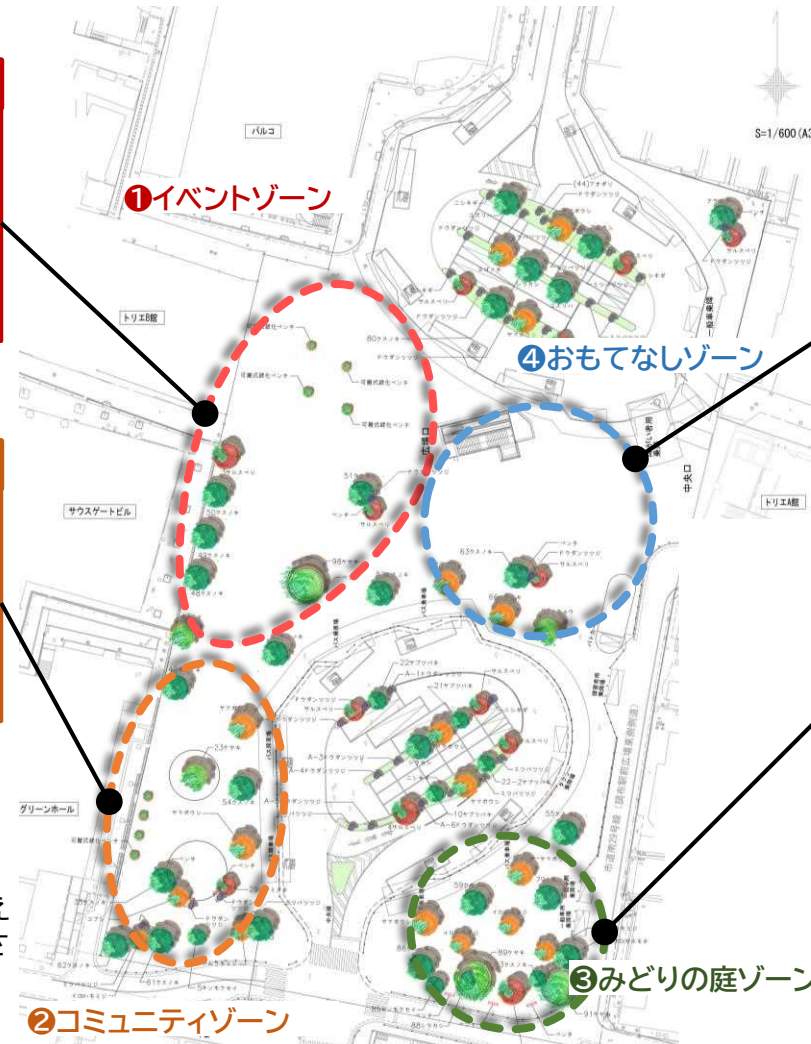
①イベントゾーン

- イベント空間として妨げにならないようにイベント空間を囲うように配置。
- サウスゲートビル前には、広場の各所から大ケヤキが望めるよう配置。

②コミュニティゾーン

- 北側は、イベント空間として使用するため、外側に多めに樹木を配置。
- 南側は、木陰で家族や友人と憩えるように樹木にベンチを組ませたものを配置。

※芝生は広場内に設置せず、植え込み地等を設けて景観を向上させる。



④おもてなしゾーン

- 広場の大ケヤキが見えるように樹木配置をしつつ、木陰を創出するための高木を配置。
- その木陰にはベンチを設置。

③みどりの庭ゾーン

- 樹木に囲まれ憩えるよう、樹木を多めに配置し、ベンチを配置。
- 周辺の建物と緩やかに分節するように植栽を配置。

交通島

- バスやタクシーなどの運転の妨げにならないよう樹種を考慮し配置。

樹木配置について②

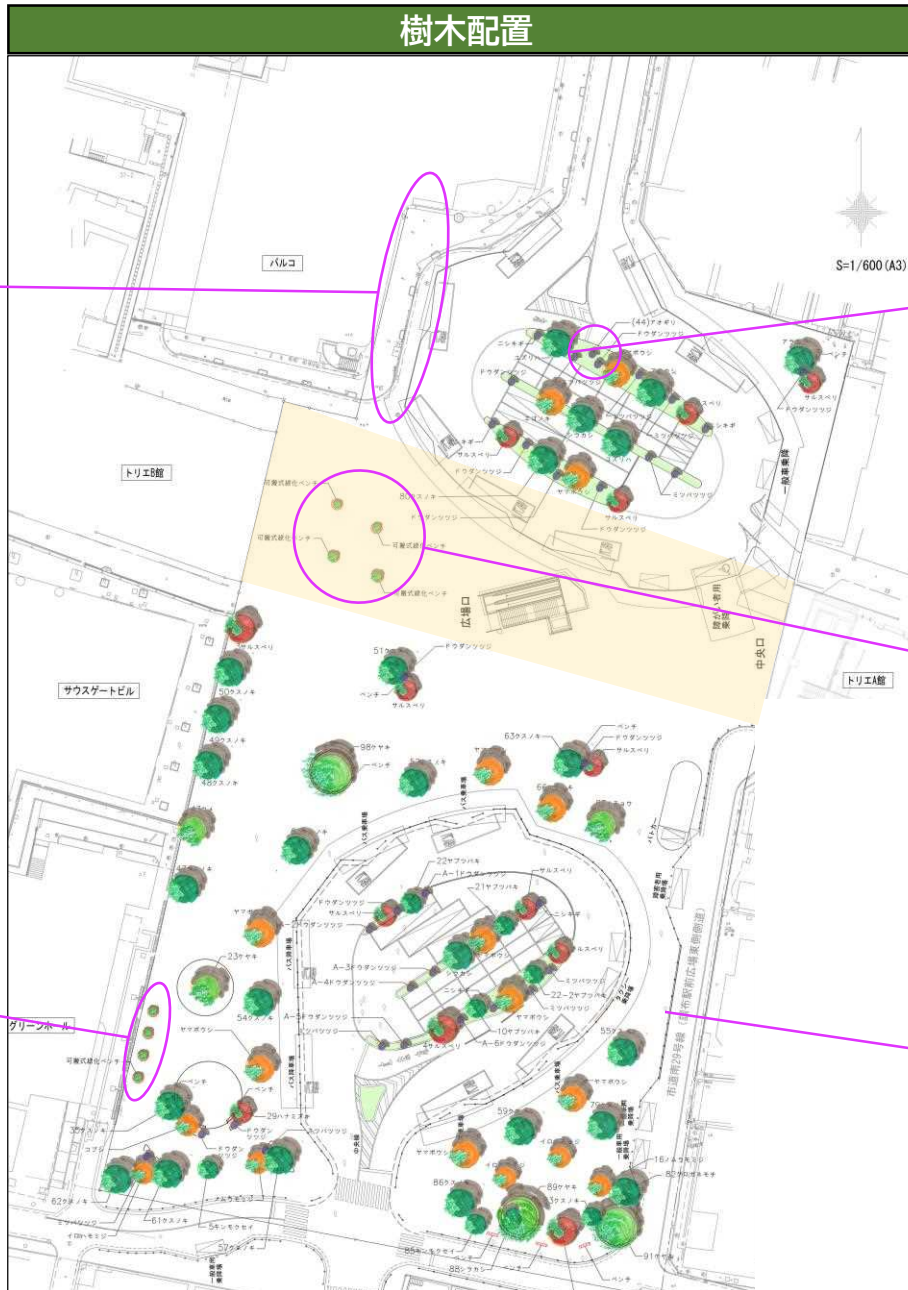
樹種配置の考え方

○植栽のコンセプト:「武蔵野林」

照葉樹林帯であった関東平野が、人々の営みとともに「武蔵野林」と呼ばれる樹林地帯が形成されていった。その武蔵野林のイメージに調和した樹種選定を行う。

選定する樹種	説明	
<p><u>自生種</u></p>	<p>関東圏に自然分布している樹種。また、移入植物でも日本に定着し久しく、調布市内でも頻繁に見かける品種も、彩を加える樹種として選定する。 例)シラカシ、ツバキ、ハナミズキ等</p>	 <p>ツバキ シラカシ</p>
<p><u>調布市ゆかりの樹木</u></p>	<p>調布駅前広場において「我が街」として、来訪者への「歓迎の意」を表現するため、ゆかりの樹種を選定する。 例)■市の木 …クスノキ ■市の花 …サルスベリ</p>	 <p>クスノキ サルスベリ</p>
<p><u>既存樹木</u></p>	<p>現位置のまま残されている樹木、広場内に移植済みまたは移植予定の樹木、苗圃へ移植済みで戻す樹木、合計39本(常緑樹5種、落葉樹8種)を活用する。 ■常緑樹…クスノキ、クロガネモチ、キンモクセイ、シラカシ、ヤブツバキ ■落葉樹…ウメ、ユリノキ、イチヨウ、ケヤキ、サルスベリ、ノムラモミジ、ハナミズキ、ヒメシャラ</p>	 <p>ウメ ノムラモミジ キンモクセイ</p>
<p><u>補完する樹木</u></p>	<p>上記の高木のほか、目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる中木、低木、地被類を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として植栽する。 例)ドウダンツツジ、ミツバツツジ等</p>	 <p>ドウダンツツジ</p>

樹木配置



幅員に対する歩行者数が多いため、樹木は配置しない。

アオギリは、樹木診断の結果 (C判定)を踏まえ、**次世代に植え替える**。
現アオギリは工事までの間できる限り保全していく。

グリーンホールとの一体性に配慮するため、当面の間は可搬式緑化ベンチを設置する。

- ・地下の鉄道躯体により土被りが1m未満であり、生育に不安が残るため、樹木は配置しない。
- ・可搬式緑化ベンチを活用した樹木配置とする。

トイレ設置予定位置のため現在のクスノキは移植する。

5 調布駅前広場整備計画図

整備計画図

